

# 3-ARROWS

ぶつかり合いの融合

津村明男太鼓道40周年記念公演

1st

2017年12月22日(金) かめありリリオホール

開場18時30分 開演19時

出演 三宅島芸能同志会 レナード衛藤 藤本吉利(鼓童) 小泉なおみ

チケット料金:5,500円(税込み) 全席指定 当日券:6,000円(税込み) ※未成年者のご入場はご遠慮下さい

チケット取り扱い:e+(イープラス) 2017年9月30日(土)10:00~

<http://surt.eplus.jp/sys/T1U14P0010843P006001P002239443P003000>

主催:株式会社3-arrows 協賛:浅野太鼓楽器店

お問い合わせ:津村明男太鼓道40周年記念公演実行委員 TEL:042-679-0910

[ QRコード ]





# Crash

ぶつかり合いの融合

津村明男太鼓道40周年記念公演 1st

## 三宅芸能同志会

津村明男(父)・和宏(長男)・秀紀(次男)・春快(三男)で構成。

打ち抜く太鼓の魅力を広めるため、新宿にスタジオを構え1都5県20ヵ所以上で指導を行い、日本全国でワークショップを開催。また、国内外で年間約50本以上の公演を行い、

海外では、アメリカのロサンゼルスに拠点を置き、他7都市に加え、オーストラリア・シンガポール・ニュージーランド・カナダ・香港にも教室を持ち、指導に当たっている。



更には、「小学校の音楽活動」や「中学校の器楽」(教育芸術社)で紹介されるなど、日本の伝統芸能としてのポジションを確立。

2017年12月に、代表明男は太鼓道40周年を迎える。2018年12月までの1年間「津村明男太鼓道40周年記念公演ツアー」を国内外で開催予定。父と子の一族だけの活動は世界で唯一の存在。還暦を過ぎた明男と、三兄弟の打ち込む太鼓は、「聞き手の身体に音を入れる」演奏を追求し、更なる進化を続ける。

## レナード衛藤

1984年より太鼓グループ「鼓童」に参加。演奏や作曲だけでなく、音楽監督としてそれまでの太鼓のイメージを一新する活躍でグループを牽引。ひとつのスタイルを作り上げたその独自の太鼓アンサンブルは、国内はもとより欧米の音楽シーンやエンタテインメントにまで大きな影響を与える。1992年に鼓童を離れ、ソロ活動を開始。これまでに50カ国を超える国々で演奏。その創作に挑戦し続ける姿勢は数多くの太鼓グループや太鼓奏者が存在する中、異彩を放っている。

海外アーティストとの公演も多岐に渡り、特に文化庁文化交流使に指名された1年(2013年8月~2014年7月)はヨーロッパを拠点にその人脈をフルに活かして各地のフェスティバルに多数参加。

楽曲も各界で高い評価を得ており、「JFK」、「LION KING」、「THE HUNTED」、「THE THIN RED LINE」などのハリウッド映画やダンス・パフォーマンス、オリンピック競技演目、CMなどに数多く使用されている。鼓童在籍時に作曲した「鼓」、「彩」、LIONといった楽曲は世界的な支持を得ている。



藤本吉利

1972年「浪浪の國太鼓座」に入座。1981年「鼓童」創設メンバー、これまで数々の舞台に立ち、「大太鼓」や「屋台囃子」といった舞台のクライマックスを飾った鼓童の最年長。1998年に「岩崎鬼剣舞」より習得の証である「印可之証」を受け、「岩崎伝浪鬼剣舞」の底元を務める。近年はゲスト出演や研修生の指導、WS講師、藤本存子との唄と太鼓の「二人行脚」など、幅広い活動を行っている。「鼓童」の名前の由来同様、永遠に太鼓の「童」でありたいと願う太鼓大好き人間。2012年、鼓童名誉団員に選定。2012年度文化庁文化交流使として中国を訪問。



小泉 なおみ  
(篠笛・能管)

3歳より聴音指導を受け、電子オルガンを習う。篠笛・能管を出口唯玲氏ほかから師事、能管を能楽師森田流笛方、野口亮氏に師事。京都市にて祇園祭「平成女鉦(現音言会)」囃子方として発足に参加。和太鼓公演の笛方、洋楽器との共演、独奏などで、国内のみならず、これまでにヨーロッパ・アジア・アメリカ・アフリカにおいて演奏。2016年11月「レナード衛藤ツアー」(京都・三重)、2017年8月「Star of Asia」(カザフスタン)、同年9月「レオクラシックス」(京都・東京)でレナード衛藤アンサンブルに参加。演奏活動以外では、篠笛愛好家のための演奏指導、演奏会や祭事への楽曲提供等を行っている。

チケット取り扱い: e+(イープラス)2017年9月30日(土) 10:00~

<http://sort.eplus.jp/sys/TIU14P0010843P006001P002239443P0030001>